

ダイオキシンと廃棄物処理

グループ 1：飛翔

メンバー

石井千晶
伊藤崇宏
王小英
岡部功治
立松典子

コンセプト

近年、私たちの身近で不法な廃棄物処理が行われており、その事実や実態を知らずに私たちは日々暮らしています。それらを詳しく調査することにより、今まで気がつかなかった事実が見えてくるはずです。『ダイオキシン』、『廃棄物処理』との関係について、まだまだ知られていないことが沢山あるので、調査をすることで環境に対する認識が深まり、「安全な暮らし」への意識改革ができるのではないかと考えています。

調査方法

インターネット、クラス内アンケート。

発表の流れ

はじめに

近年の不法な廃棄物処理の増加が問題となっている。

→ 廃棄物処理についての認識不足が原因？

環境に対する認識を深める必要があるのではないのでしょうか？

安全な暮らしへの意識改革ができるのではないのでしょうか？

具体的な廃棄物処理法は？ダイオキシンとは何か？

性質、発生原因

- ダイオキシン類は、常温では無色の固体で水に溶けにくく、蒸発しにくい。
- また水に溶けない代わりに脂肪には溶けやすいという特徴があります。
- 熱に強く、他の化学物質や酸、アルカリにも簡単に反応せず安定した状態を保つことが多いのですが、太陽光の紫外線で徐々に分解されるといわれています。
- 極め安定した物質であるため、私たちの環境の中で**簡単には無くならないのです。**
- 主な発生源はごみ焼却による燃焼。その他に製鋼用電気炉、たばこの煙、自動車排出ガスなど。森林火災、火山活動等でも生じるといわれています。

今までの被害

- ダーク油事件について
- カネミ油症について

現在の状況

- P C Bの製造・使用の禁止
- 廃棄物処理法の改正について
- P C Bの処理方法について

産業廃棄物処理について

その廃棄物を廃棄物処理法に従って収集し、無害化・減量化・安定化する。この焼却処理により発生した排ガス中に**ダイオキシン**が含まれています。

廃棄物処理(廃棄)法について

廃棄物に関する基本的な法律であり、廃棄物の区分や処理責任などを規定しています。

アンケートの結果

ダイオキシンについてどれくらい関心があるか？何故関心があるか？などの質問をグラフ化、その結果をもとに推測しました。

まとめ

- 私たちのダイオキシンや廃棄物処理に対しての知識はあいまいな部分が多いと思われます。
- 身近な環境問題としてとらえていない傾向があるのではないのでしょうか。
- 実際にどう対処していいのか解からないのではないのでしょうか。

ダイオキシンを出さないためには

- ゴミの排出量を減らす。
- 完全対策済みの焼却施設で確実に処分する。
- 自然に処分できるものに囲まれて暮らすことが大きな課題です。

伝えたいメッセージ

現在、環境問題は特に地球温暖化のことについて取り上げられていますが、環境問題の中でも生命に危機を及ぼす可能性のあるダイオキシンのことを忘れてはいけません。ダイオキシンにはいくつかの種類があり、発癌性のものであれば、植物を枯れさせたり動物を死に追いやるものもあります。どのようにしたら予防できるのかを、私たちと一緒に考えていきましょう。